

各位

会社名 中央化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 水野 和也
 (コード番号 7895)
 問合せ先 ビジネス・デベロップメント 高濱 吉晃
 役職氏名 &プランニング本部 経営企画部長
 電話 048-540-2820

特別損失・特別利益の計上および業績予想(連結・個別)の修正
 並びに代表者である代表取締役の異動
 および組織変更・役員の異動に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期第3四半期において、特別損失および特別利益の計上を行うとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成29年11月8日に公表しました業績予想を下記の通り修正しました。また、下記のとおり代表取締役の異動および組織の変更と執行役員の異動を決議しましたので、お知らせいたします。

記

- 特別損失（固定資産の減損損失、構造改革費用、中国事業再編費用）の計上について
 「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する工場の一部の固定資産及び情報システムについて将来の回収可能性を検討した結果、第3四半期において連結および個別ともに1,593百万円の減損損失と451百万円の構造改革費用(後述4.参照)を計上する見込みです。また、第3四半期において連結で152百万円の海外事業等再編費用を計上する見込みです。
 また、平成30年1月24日に公表しました当社連結子会社の上海中央化学有限公司の生産移管に伴い第4四半期において連結業績に約3億円の特別損失が発生する見込みとなりました。
- 特別利益（子会社出資分の持分譲渡）の計上について
 平成29年11月22日に公表しました当社連結子会社の北京雁栖中央化学有限公司の持分譲渡に伴い第4四半期において連結業績に約11億円の特別利益が発生する見込みとなりました。
- 業績予想の修正について
 (1) 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	59,000	△ 1,100	△ 1,400	△ 2,400	円 銭 △ 119.11
今回修正 (B)	58,000	△ 1,500	△ 1,800	△ 4,300	△ 213.41
増減額 (B-A)	△ 1,000	△ 400	△ 400	△ 1,900	
増減率	△ 1.7%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	58,240	290	△ 179	△ 537	△ 26.66

(2) 平成 30 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	51,000	△ 1,400	△ 2,400	△ 119.11
今回修正 (B)	50,000	△ 1,800	△ 4,300	△ 213.41
増減額 (B-A)	△ 1,000	△ 400	△ 1,900	
増減率	△ 2.0%	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	51,987	△141	△ 464	△ 23.07

4. 修正の理由

1) 連結業績

当期の通期予想数値については、前回予想時点の状況が継続していることに加えて想定よりも年末需要が低調となり汎用品を中心として販売数量が減少したこと等により売上高については10億円、これに伴って営業利益については4億円、経常利益は4億円、当期純利益は前述1.の特別損失および前述2.の特別利益の影響で19億円、前回予想を下回る見通しです。

当社グループは本年度業績下方修正を受け、原材料価格高騰にも耐えうる恒常的収益体質の構築及び資金繰り改善も含めた構造改革を中心とする新中期経営計画の策定に着手しております。新中期経営計画は、選択と集中(ポートフォリオ再構築)、生産拠点の見直し、オペレーション改革、機能間連携の強化を柱に当社グループの構造改革を実現するものであり、これに先立ち前述1.の通り当第3四半期において固定資産の減損損失による特別損失を計上いたしました。

2) 個別業績

当期の通期予想数値についても、連結業績と同様の理由で、個別売上高については前回予想を10億円、経常利益は4億円、当期純利益は19億円下回る見通しです。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって上記の予想とは異なる結果となる可能性があります。

5. 代表取締役の異動

(1) 異動の内容 (代表者の異動)

新役職名	氏名 (ふりがな)	現役職名
代表取締役社長	近藤 康正 (こんどう やすまさ)	取締役
取締役	水野 和也 (みずの かずや)	代表取締役社長
取締役	森本 和宣 (もりもと かずのり)	代表取締役

(2) 異動の理由

構造改革を中心とする新中期経営計画の遂行と更なる企業価値向上の推進を着実に実現していくための経営体制強化として、今回の異動を行なうものです。

(3) 新任代表取締役の氏名および略歴等

氏名 (生年月日)	略歴等	所有する 当社株式 の数	
近藤 康正 (昭和38年12月22日生)	昭和61年4月	三菱商事株式会社 入社	0株
	平成23年1月	同社塩化ビニールユニットマネージャー	
	平成25年2月	同社合成樹脂ユニットマネージャー兼塩化ビニールユニットマネージャー	
	平成25年3月	当社取締役	
	平成25年4月	三菱商事株式会社 合成樹脂部長 兼塩化ビニール部長	
	平成25年5月	同社合成樹脂部長	
	平成28年4月	同社化学品グループCEOオフィス事業投資担当	
	平成29年4月	当社出向 取締役常務執行役員 成長戦略担当 兼 マーケティング &セールス本部 副本部長 特販 担当	
	平成29年8月	当社出向 取締役常務執行役員 成長戦略担当 兼 マーケティング&セールス本部 副本部長 特販担当 兼 オペレーション&ロジスティックス本部 調達部長 (現任)	

(4) 異動予定日

平成30年4月1日(日)

6. 組織の変更

構造改革を中心とする新中期経営計画の遂行に向けて更なる機能間連携の推進と経営管理体制の強化の為に、平成30年4月1日付で商品開発本部をオペレーション&ロジスティックス本部へ統合し、「生産・技術本部」に改称、マーケティング&セールス本部を「営業本部」に改称し、また同日付で「経営戦略室」を新設、ビジネス・デベロップメント&プランニング本部を発展的に解消しその機能を経営戦略室へ移管いたします。

7. 執行役員人事

構造改革を中心とする新中期経営計画の遂行と更なる企業価値向上を目的に以下の通り役員人事異動を実施いたします。

(1) 執行役員異動（平成30年4月1日付）

氏名	執行役員役位および委嘱業務	
	新	現
近藤 康正	社長執行役員	常務執行役員 成長戦略担当 兼 マーケティング&セールス本部 副本部長 特販担当 兼 オペレーション&ロジスティクス 本部 調達部長
森本 和宣	常務執行役員 管理・内部統制・コンプライアンス担当 (チーフコンプライアンスオフィサー) 管理本部長 兼 経営戦略室長 兼 総務人事部長	専務執行役員 管理・内部統制・中国事業・ コンプライアンス担当 (チーフコンプライアンスオフィサー) 管理本部長 兼 総務人事部長
後藤 研二	常務執行役員 営業本部長	専務執行役員 マーケティング&セールス本部長
朝夷 修司	常務執行役員 生産・技術本部長	常務執行役員 オペレーション&ロジスティクス 本部長
郁 方銘	常務執行役員 中国総代表 環菱中央化学管理有限公司 総経理 兼 管理統括 兼 営業統括 兼 購買統括 兼 香港中央化学有限公司 社長	執行役員 環菱中央化学管理有限公司 総経理 兼 管理統括 兼 営業統括 兼 購買統括 兼 香港中央化学有限公司 社長

(2) 退任執行役員（平成30年2月28日付）

平井 均（現：執行役員 管理本部 副本部長 兼 情報システム部長）

(3) 退任執行役員（平成30年3月31日付）

水野 和也（現：社長執行役員）

中井 正（現：専務執行役員 中国事業生産・技術担当）

田中 昭次（現：執行役員 環菱中央化学管理有限公司 副総経理 兼 生産・技術統括
兼 商品開発本部付）

村山賢一郎（現：執行役員 ビジネス・デベロップメント&プランニング本部付
兼 マーケティング&セールス本部 海外市場開発担当
兼 商品開発本部 海外商品開発担当）

青木 仁（現：執行役員 マーケティング&セールス本部 副本部長（東日本担当））

吉田 隆徳（現：執行役員 マーケティング&セールス本部 副本部長（西日本担当））

阿南 恵司 (現：執行役員 オペレーション&ロジスティクス本部 副本部長
兼 Neo Act 推進担当)
松岡 滋 (現：執行役員 商品開発本部長 兼 MD部長)

以 上